

福崎ユニバーサル推進地区事業プラン

平成 22 年（2010 年）3 月

兵庫県福崎町

- 目次 contents -

Page

1 . 事業の概要

1-1 . 事業名称	1
1-2 . 事業対象範囲	1
1-3 . 事業の目的	1
1-4 . 事業プラン策定の実施手順	2
1-5 . 事業プラン策定の内容	2

2 . 推進地区のバリアの現状と問題点、取り組み課題

2-1 . 推進地区の概況	5
2-2 . 道路等の生活基盤におけるバリアの現状と問題点、取り組み課題	6
2-3 . JR福崎駅駅舎及び駅前広場におけるバリアの現状と問題点、取り組み課題	7
2-4 . 公共公益施設等におけるバリアの現状と問題点、取り組み課題	8
2-5 . サイン等案内表示におけるバリアの現状と問題点、取り組み課題	8

3 . 推進地区における既往プロジェクト

3-1 . 防災再開発促進地区の概要	11
3-2 . 中心市街地商業等活性化基本計画（案）の概要	12
3-3 . 都市計画マスタープランの概要	16

4 . 取り組み方針

4-1 . 計画の理念・基本目標	17
4-2 . 取り組みの方針	19
4-3 . 取り組みメニューの抽出	23
(1) ハード事業の内容	23
(2) ソフト事業の内容	26

1. 事業の概要

1-1. 事業名称

福崎ユニバーサル推進地区事業

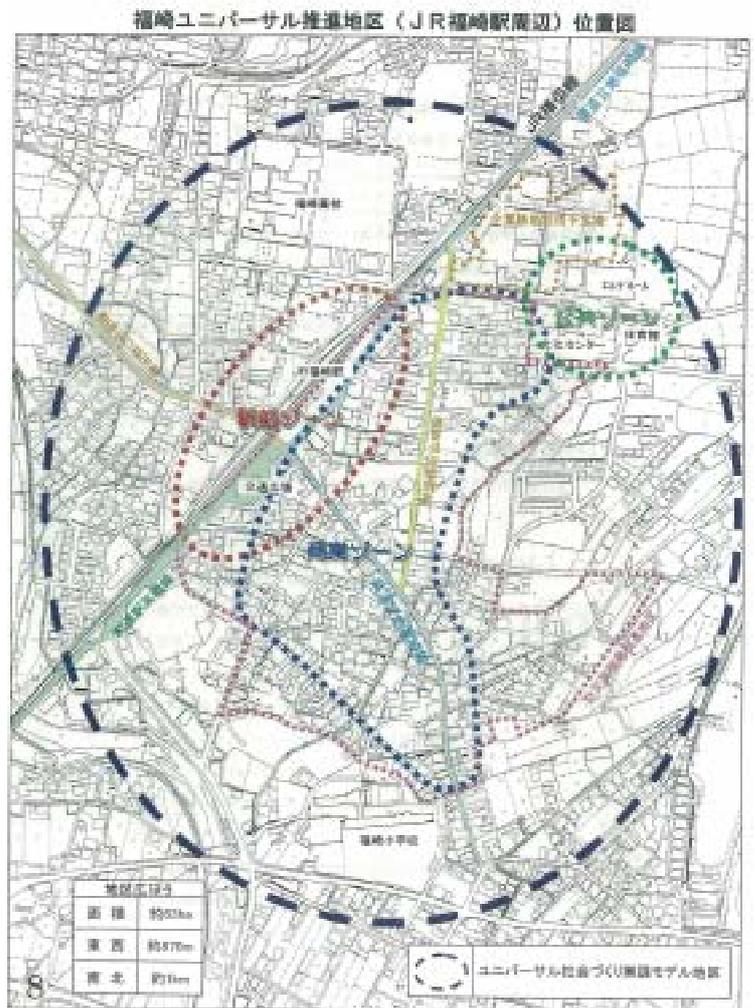
1-2. 事業対象範囲

福崎ユニバーサル推進地区
 : J R 福崎駅周辺の約 63ha の区域
 (県指定: 平成 21 年 1 月 21 日)

1-3. 事業の目的

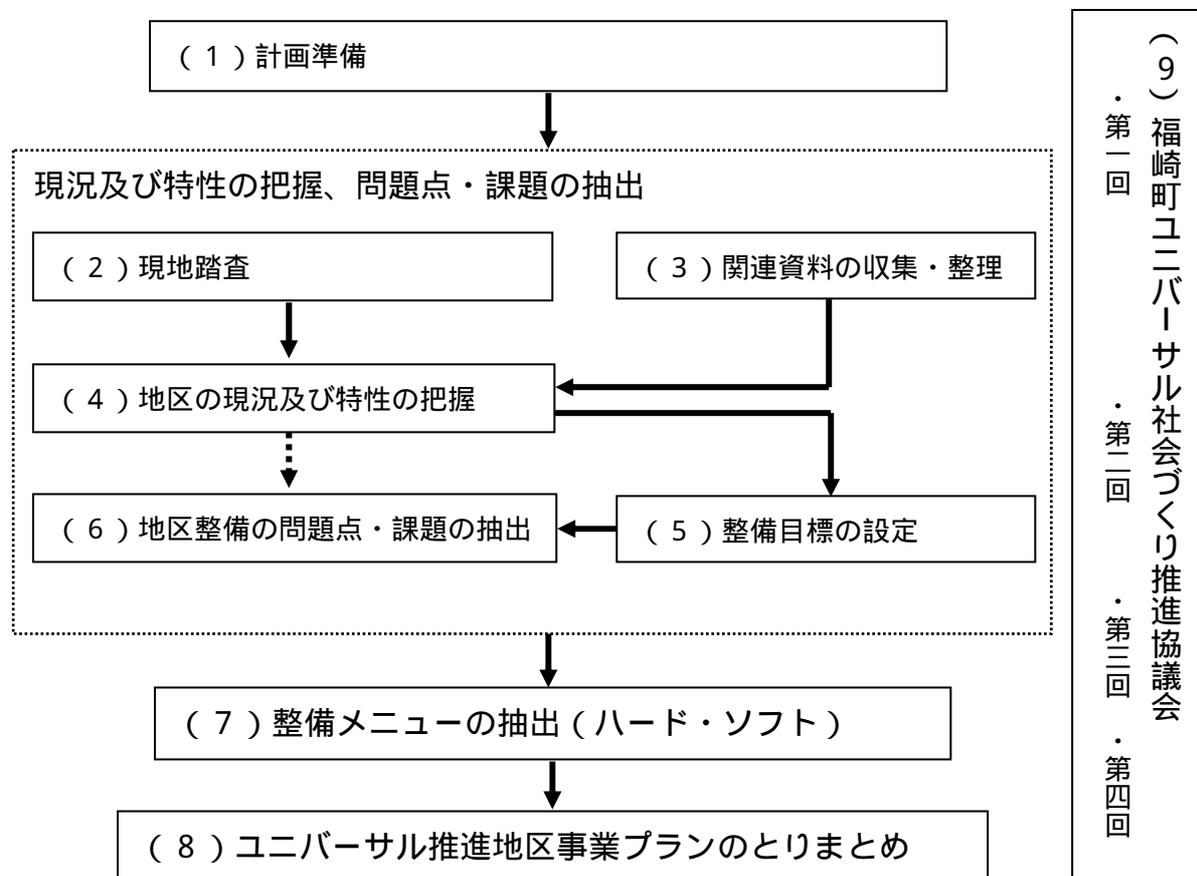
地域のすべての人々が、安心して暮らし、安全、快適に活動出来るよう、歩車道分離、バリアフリー化などの事業を行い、町の玄関口としてふさわしい整備を進める。

これらを整備することにより、町内でも高齢化率の高い地域の安全度・安心度を高めるユニバーサル社会づくりを実現するとともに、まちの賑わいの復活を図り、福崎ユニバーサル推進地区 (J R 福崎駅周辺) の活性化につなぐことを目標、目的とする。



1-4．事業プラン策定の実施手順

福岡ユニバーサル推進地区事業プランは、以下のフローにもとづき策定する。



1-5．事業プラン策定の内容

(1) 計画準備

事業の目的及びその内容を十分把握して、事業プラン策定の実施方針を検討整理するとともに工程計画を立てる。

(2) 現地踏査

現地踏査し地区の現況を把握するとともに整備イメージ構築の基礎資料を作成する。

【現地踏査内容】

道路、駅（駅前広場含む）等の都市基盤施設

案内表示

各施設のバリアフリーに関する整備状況（段差の状況、歩道等有効幅員、視覚障害者誘導用ブロック敷設状況、音声（盲人用音響）設備設置状況、垂直移動設備、道路占有物の状況（不法駐車・不法駐輪等）

(3) 関連資料の収集・整理

当地区にかかる関連資料を収集・整理し、以下の検討の基礎資料とする。

(4) 地区の現況及び特性の把握

(2)(3)で整理した資料をもとに当地区の現況及び特性を整理する。

【調査内容】

道路、駅（駅前広場含む）等の都市基盤施設の現況

案内表示等のサービス施設の現況

各施設の現状について、既存資料（統計データ等）及び現地踏査の結果から整理する。

バリアフリーに関する整備状況（段差の状況、歩道等有効幅員、視覚障害者誘導用ブロック敷設状況、音声（盲人用音響）設備設置状況、垂直移動設備、道路占有物の状況等）について整理する。

(5) 整備目標の設定

地区の現況及び特性を踏まえ、当地区の整備方針を検討し整備目標を設定する。

(6) 地区整備の問題点・課題の抽出

当地区の整備目標に対して、地区の問題点・課題を抽出整理し、今後実施される地区整備計画立案時の参考資料とする。

(7) 整備メニューの抽出

当地区の整備目標及び問題点、課題を踏まえ、地区整備を進める上で必要と考えられる整備メニューを抽出するとともに、他の関連諸計画や事業実施時期等を勘案し最適な整備メニューを選定する。整備メニューは、ハード面・ソフト面の両面から選定し整理する。

道路関係

1) 県道等の主要な幹線道路

2) 町道等の生活道路・街路・遊歩道

駅・駅前広場関係

1) 駅舎

2) 駅前広場

案内表示

(8) ユニバーサル推進地区事業プランのとりまとめ

業務の目的を踏まえ、業務の各段階で得られた成果をもとに、ユニバーサル推進地区事業プランとして取りまとめる。

